

おはようございます。記念祭実行委員長です。

本日は、礼拝の時間を少しお借りして、記念祭に関する献金、募金活動の報告をさせていただきます。

まずは、ACEFへの献金についての報告です。記念祭では、毎年各団体の売上を全額ACEFに寄付しております。今年度は、174,335円を送らせていただきました。

私達の献金は、バングラデシュに寺子屋を建てることや、アジアの諸問題に取り組む青年の育成などに使われます。

次に、募金活動についての報告です。今年度も、記念祭実行委員会と生徒会は共同で募金活動を行いました。集まった額は総額57,702円で、うち16,336円を日本国際飢餓対策機構を通して北海道地震の復興に、41,366円をともしび会を通して東日本大震災の復興のために募金いたしました。ともしび会は福島県の学校法人 桜の聖母学院によって発足された会で、女子聖学院では東日本大震災発生後の2012年から支援をさせていただいております。

この度の募金にご協力くださった皆様には、深く感謝申し上げます。

また、先日ともしび会よりお便りをいただきましたので、その内容を少しご紹介させていただきます。—『ともしび会』のご支援をいただき巣立って行きました学生たちは、平成29年度末で40名となりました。今年度は9名の学生が援助を頂いております。古里の復興に貢献したいとの希望を持つことができたのは、ともしび会のご支援のおかげと、学生たちは感謝の気持ちを噛み締めています。— このように、私達の献金が被災地の皆さんの支えとなっていることを大変嬉しく思います。しかし、今もなお様々な災害によって苦しめられている方々が居ることもまた事実です。

どうかその方々のことを、今後もお祈りに覚えつつ、私達の活動を続けてまいりたいと思います。神様の恵みによって多くの方が救われますよう、心より願っております。

以上で、記念祭での献金、募金報告とさせていただきます。